

# 芸術工学部のPR動画デザイン提案

The Public Relations of School of Design for the Preparatory Students

南亜洲加 MINAMI Asuka 2018年入学 | 工業設計学科 Department of Industrial Design

分類: 卒業研究

作品/論文: 作品

制作年度: 2022年度

課題概要: 映像



図1 PR動画のラストシーンとメインメッセージ

工学部から芸術工学部へ転学部したことによって好きなことを学ぶ楽しさや芸術工学部の魅力を知ることができたという背景から、まだ芸術工学部を知らない高校生に芸術工学部を知ってもらうきっかけを作りたいという思いからこの研究は始まった。

本研究では、「芸術工学部の広報の現状」「ターゲットである高校生のニーズ」「芸術工学部の魅力」の3つについて調査を行った。

芸術工学部の広報の調査では、芸術工学部のHPには「授業・研究」などの項目が充実していることが分かった。高校生のニーズ調査では、高校生に「大学の情報で気になること」について聞いたインタビューを行ったところ、高校生が最も関心を示すものは「恋愛」であるという結果が得られた。芸術工学部の魅力に関する調査では、研究院長である尾本章教授にインタビュー調査を行ったところ、芸術工学部には「多様な視点からそれぞれの最適解を見つける」という魅力があることが分かった。

これらの結果から、芸術工学部のHPにはないもの高校生の関心が高い項目である「恋愛」を軸に「多様な視点からそれぞれの最適解を見つける」という芸術工学部の魅力を伝えるPR動画を制作した。

動画のあらすじとメインメッセージについて以下に記す。「恋愛」について悩んでいる高校生が勉強中に寝落ちをしてしまいある夢を見る。その夢の中で「恋愛とは何か？」という答えが無数にある問いに対し、芸工生が自分にとっての答えを出していく。たった1つの問いだとしても、それぞれにとっての答えに変わるということを強調し、最後に「あなたにとっての、答えで良い」というメインメッセージで締める。このメインメッセージは日々の授業や発表などで作品の完成度や展示方法など、自分にとってのゴールを決めなければならない環境下にいる芸工生ならではの強みと、「多様な視点からそれぞれの最適解を見つける」という芸術工学部の魅力をまとめた言葉である。



図2 「恋愛とは何か？」に答える芸工生の様子